

伝説的スチュウ

その①。失業率の上昇の

減少と不況との関係

関係がいかに——

「競輪が示す不況の分布——」
一月一三日付朝日新聞は、このほど
近畿自転車協会がまとめた「五十年
度上旬の管内八競輪場の実績」とや
らを紹介し、分析している。

これまで売上げ、入場人買とも毎
年一〇%ずつ伸びてきたが、強い不
況風に後退、四月から九月までの全
体の売上げは八五五億—三〇〇万円。
前年度より三・九四%の減少、入場
人買も九・四七%減少という。

競輪場別にみると、周遊では新並
み大福前。白日町九・七六%、西宮
八・七二%、岸和田六・九九%、甲
子園三・四七%と減少している。

しかし、和歌山や奈良、福井など地方の競
輪場は、世に伸びているし、また、競馬、競
艇も不況の影響は受けているが、競輪の落ち
込みほどではない。これについては、それぞ
れ「地方より都合ほど不況が深刻なため」、
また「競輪はくらべたら四、五十代の家族持
ちが圧倒的に生活に直われるため」と分析し
ている、という。

しかし、ませつかえすワケじゃないが、「
不況のしわよせを一番うけた」といわれる筈
では、三河公園のノミ屋はますますはやって
るんじゃないかナア。第一、不況ほど「一発
当てたい」のが人情だよッ。(一攫千金)

その②。大学出た奴あ自殺した
りマア争ごしたり大変なんだッ——

今出ている「経済」十二月号は、「雇用失
業と学生の就職」という特集を組んでいて、
そのなかに「緊急企画」経済危機下の学生就
職問題」という文章があり、たいそう変なこ

特集：不況、不況というけれど、どっこの生きまじり

とが書いてある。

内容は「大企業に就職を拒否され
た学生たち」/「就職難打開へ学生も
父兄も大学も」/「採用中止をやめさ
せる学生の斗争」となっていて、要
するに「大企業」へ入りたいたいが入れ
ない、仕事よこせ?というこじらし
いのだ。そういえば、最近、新聞に
大学生や大学院生が、仕事がない?!
のを苦にして首つって自殺、なんて
いうニュースがのっているけど、アホかいな、
甘ったれるなといいたい。

おまけに、もう一つ変なことには、この雑
談「日本共産党」系だという。アカというの
は労働者のことをまっ先に考えてくれるって
きいてたが、これじゃアカはアカでも人工着
色のアカ、ニセのアカだな。

今度は何の仕事しようカナ、何しても食っ
ていけないと思ってる俺たちの方が、弱く見え
ても強く、彼ら立派に見えても阿呆であり、

強く見えてももろく弱いようです。(馬鹿)

その③。さて、出かせぎの仲間
たちと不況との関係は——

一〇月二〇日付たりまつ(新聞)は「出か
せぎ難の両面」という記事のせ、「秋田県南
部での動きをみると……」職安と縁故ルートで
仕事にありついた農民は、求職者全体からみ
て二分の一、ところによつては三分の一程度
と伝えてる。

一月二日付神戸新聞は「出かせぎ労働者
ピンチに 但馬丹波」/「求人昨年の三割」/
酒造は横バイだが大企業はさつぱりという
記事のせている。そして、同地方から阪神
間への出かせぎのなかでも、製造・建設業関
係の求人数が六四二人(昨年は二一六八人)
と激減という(豊岡公共職業安定所抜い)。

高度経済成長とやらの時に正反やら何やら
でさんざん農村を破壊しておいて使いますと
は、ますます歪曲的になつて来るな——

(田香作)